

福津市民の窓口

福津市市民課から
こんにちは!

市民課(福岡庁舎) ☎43・8127

国民健康保険高齢受給者証の
負担割合について



2割
(平成24年3月31日までは1割)

一部負担金の割合が2割と表示されている人には、4月以降に使用する高齢受給者証を3月上旬に発送します。

国民健康保険高齢受給者証(以下、高齢受給者証)を提示して医療機関を受診する時の負担割合を示す一部負担金の割合は、現役並み所得者の世帯では「3割」、それ以外の世帯では「2割(平成24年3月31日までは1割)」になっています。

2割負担がこのような表記になっているのは、当初、平成20年4月から負担割合を2割に変更する予定だったものが延期されて、1割とする措置がなされているためです。

このたび、国においてこの措置をさらに1年間延長し、平成25年3月までとすることが決まりました。

高齢受給者証は、70歳の誕生日の翌月から75歳の誕生日の前日まで適用され、医療機関の受診の際に保険証と併せて提示していただくものです。

有効期限は、毎年8月に負担割合の年度更新を行う関係上、7月末もしくは75歳の誕生日の前日までとなります。ただし、現役並み所得者以外の世帯については、前記の措置があるため、平成24年3月31日までとなります。4月1日以降に使う高齢受給者証は、3月上旬に送付予定ですので、ご確認ください。

介護保険料(普通徴収(納付書、または口座振替))の納め忘れはありませんか?

65歳以上(第1号被保険者)のかたの介護保険料は、原則として年金からの特別徴収(天引き)としています。しかし、65歳になったばかりの人、転入したばかりの人、特別徴収対象外の年金のみを受給している人などは、普通徴収(市役所が送付する納付書、または口座振替手続き)として直接納付していただきます。

介護サービスが必要になったときに、安心して利用できるように、保険料を納期限内に納付してください。よろしくお願いします。

介護保険はみんなで支えあう制度です。納めていただいている介護保険料は、介護保険を健全に運営していくための大切な財源となります。

介護保険料の納め忘れにご注意

もっと身近に

介護情報

高齢者サービス課
(福岡庁舎)
☎43・8191



介護保険料を納めていない状況が続くと、滞納期間に応じて次のような取り扱いをするように定められています。

1年以上滞納すると…介護保険サービスにかかる費用の全額をいったん自己負担しなければなりません。申請により、あとで保険給付分(9割)が支払われます。

1年6カ月以上滞納すると…保険給付の一部または全部が一時的に差し止めとなります。

納め忘れを防ぐためにも、口座振替をぜひご利用ください。また、事情により期限内に納付することができない場合は、市高齢者サービス課にご相談ください。

問い合わせ 市高齢者サービス課 介護保険係(福岡庁舎) ☎43・8191

行政経営へ

変革

行政経営企画課(福岡庁舎) ☎43・8121

第47回

市民の視点で
市役所の仕事を再点検

過去に行った外部評価から、どのように事務が改善されたか。

事務事業評価の目的は、評価点検した後、何らかの改善に結び付け、より有効な事業実施をしていくことです。そこで、事業がどのように改善されたか、どのような取り組みを行なっているかを継続してみていく必要があります。

今年度は、過去に外部評価受けた事務事業のうち、6事業について、その当時の評価結果を受け、現在どのように事業展開しているかを点検しました。そのうちの2事業について紹介します。

事業名	収納の強化事務		
評価時21年度	事業の方向性	現状維持、事業のやり方を改善	予算 現状維持、削減
	コメント	税負担の公平性を守るために大変重要な事務である。まず、滞納者が出ないために、税の情報に触れる機会や、納税しやすい工夫を凝らして、金融機関とも更に連携して、口座振替を更に推進すべき。また、滞納者に対しては、通知の工夫により督促状や催告書を早く認識してもらい、初期回収の強化を進めることに期待したい。	
担当課からの説明	前回からの改善内容	・平成22年10月緊急収納対策本部を立ち上げ、平成23年5月から収納対策本部がその事務を引き継いで取り組んでいる。 ・滞納のあるかたに全滞納金額をお知らせする通知を発送し、反応のないかたにはさらに差押え予告を送付する予定である。 ・コンビ二収納導入に向けて準備を進めている。	
	現状	・差押えは手間のかかる手続きなので、基本的には過年度の催告に力を入れていきたい。 ・市民の皆さんに滞納してはいけないという意識を持っていただくことが一番で、税負担の公平性を欠くことがないように、業務を進めていきたい。	
	課題	・納期や口座の残高確認などの啓発 ・口座振替申込手続きの簡素化	
委員会からの意見		・口座振替率を向上させるために、さまざまな方法で啓発する必要があると思う。 ・納期限を知らせるために、金融機関と連携し、いつ何の納期か掲示などをさせてもらってはどうか。 ・税金などを支払わないことでどれだけのコストがかかっているかということ、このロスをなくすだけでも他に投資できるということを認識してもらいたいと思う。 ・電話での督促や裁判所での支払い督促の手続きなどを検討してはどうか。	

事業名	"認知症の人を、地域で支えるまちづくり"		
評価時20年度	事業の方向性	現状維持	予算 増大
	コメント	予防への取り組みを拡大し充実させていくことを大いに支持する。当事者同士のみならず、多世代で参加交流したり、支える人同士が情報を共有することが大事なので、日常的な声掛けやサポーターの活動の研修プログラムの時間枠や開催頻度の拡大などを通じて「主体的にできること」を大いにPRしていくことが求められると考える。個人情報の枠を超えた「存在への認知」を通じて共通の課題という認識を市民の中で得たい。また、キャラバンメイトやサポーターに関しては、常に活動へのフォローをする場も必要と思われる。	
担当課からの説明	前回からの改善内容	・地域の団体や市内の事業所および店舗へサポーター養成講座への参加を呼び掛け、「認知症の人にやさしいお店(事業所)」として参加していただき、地域での見守り体制の強化を図っている。 ・認知症サポーター登録者数は年々増加している。	
	現状	・市内に認知症と思われるかたがどのくらいいるのか把握は難しいが、推計では約1,100人となっている。 ・認知症になっても、住み慣れた地域で元気にその人らしく暮らしていただくことが大事と考えているので、認知症サポーター養成講座や介護教室などを行い、認知症に対する市民のかたの理解を願っているところである。	
	課題	・事務事業評価シートの指標項目の改善 ・認知症に関するさらなる周知	
委員会からの意見		・認知症のかたとの接し方の基本的な知識をみんなが知っておく必要があると思う。 ・認知症サポーターや認知症のかたの家族など、認知症のかたを支える人たちをサポートすることも大事だと思う。そのような人たちが語り合える場があればいいと思う。 ・認知症の進行を初期の段階で食い止めるためのまちづくりが必要だと思う。 ・病院に行かなくても専門医に相談できる窓口が定期的にあればいいと思う。 ・この事業は数値で表すよりも何をしているかを文章で表したほうがいように思う。数値で表すならば、成果が分かりやすいように何を指標にするか工夫が必要だと思う。	

本・CD・DVD・ビデオ紹介

夢と創造の交差点。

図書館には、新しい本やCD・DVDなどたくさん入ってきています。ご利用ください。市立図書館 ☎42・8000

一般書

「奇縁まんだら 終り」
瀬戸内 寂聴
日本経済新聞社

生きるとは、人との出会い、奇なる縁の不思議さと幸せ。吉村昭、榊原山、岡田嘉子、司馬遼太郎などこの世で出逢い、感銘を受けた縁者たちを記憶のまに綴る。

「ひとさじで料亭の味!魔法の糀レシピ」
浅利 妙峰
講談社

糀は、うまみたっぷりの魔法の調味料。簡単・おいしい・健康に良いから一度使うととりこになる!老舗「糀屋本店」の女将が、本物の糀レシピを紹介。塩糀や甘糀の作り方、糀の効果や効能なども収録。

A V

「栗原はるみのおすすめ!わが家の味」
DVD

栗原はるみの料理は、日々の暮らしの中から生まれたもの。「ツナカレー」や「牛ごぼう丼」など、家族に好評だったレシピを25品紹介します。どれも簡単そうでもかみごちそうに見えるのが素晴らしい!他に、はるみ流おもてなしのアイデアも紹介。

「うたって覚えよう!九九のうた県庁所在地」
CD

歌でラクラク覚えちゃおう!九九も、県庁所在地も、年号も、元素記号も、一緒に歌えばラクラク覚えられます!授業に、テストに役立つ歌をたっぷり14曲収録。どれも覚えやすいメロディーで、すんなり頭に入ってきます。

児童書

「フリードル先生とテレジンの子どもたち」
野村 路子
第三文明社

1万5千人の子どもがいた「地獄の控室」に残っていたのは、わずか100人の子どもと、4000枚の絵でした。死を前にした収容所の生活の中で、美しい絵を描くことができたのはなぜか、どんなことを考えていたのか、生き残った人たちの証言。

「雨あがりのメデジン」
アルフレッド・ゴメス=セルダ
鈴木出版

10歳の少年カミーロは、学校に通わず、親友のアンドレスと毎日ぶらぶらしていました。ある日近くに建った立派な図書館に足を踏み入れ、一人の図書館員と出会います。コロンビアのメデジンを舞台に描かれた、未来への希望の物語。

映画会

日時 子ども向け 毎月 第2・4土曜日 14:00から
大人向け 毎月 第1・3日曜日 14:00から
場所 市立図書館2階 視聴覚室

絵本の読み聞かせ

日時 赤ちゃん向け(木曜おはなし会012)
毎月 第2木曜日 11:00から
低学年児童向け 毎週 日曜日 15:00から
場所 児童書コーナー奥のおはなしの部屋

おはなしの部屋から

①3月3日(土) ④3月17日(土)
■幼児~小学生(低学年) ■幼児~小学生(低学年)
15:00~15:30 15:00~15:30
「世界で一番きれいな声」 「鳥舌爺」
■小学生~大人 ■小学生~大人
15:40~16:10 15:40~16:10
「アジョーヌシカとイワーヌシカ」 「ねずみ経」

②3月10日(土) ③3月15日(木)
「ぐりとぐらのえんそく」 11:00~11:30
「アンパンマンの絵しばい」 絵本やわらべうたなど
場所 図書館おはなしの部屋
問い合わせ
①④ふくつ語りの会 代表 渡辺満子 ☎43・3411
②お日さまのうたサークル 代表 石橋利枝 ☎42・5061
③子ども劇場・おはなしの国 ☎43・0715

旬の食材を食べよう!

産直市場には冬が旬の食材が満載です

「旬」とは、食材が1年でもっともおいしく、栄養価が高い時期で、人間がその季節に必要な栄養素をたっぷり含んでいます。また、出荷量も多いため値段も安く、求めやすくなっています。

冬の体は新陳代謝が鈍っています。そのため、体を内側から温めて新陳代謝を活発にしてくれる冬野菜を摂ることは健康にもつながります。また、水分を多く含んだ冬野菜は、寒さや霜で凍らないように葉の糖分を増やして身を守るため、甘くておいしくなっています。

旬の食材は栄養価が高い

旬の野菜とそれ以外の時期の野菜の栄養価の違いは想像以上です。特にβカロテンとビタミンCの変動は大きく、ホウレンソウで比較すると、冬採りは夏採りの3倍もβビタミンC



▲ふれあい広場ふくまは、旬の食材を買い求めるお客さんにぎわっています



▲市内の産直市場には、旬の食材が満載

アンビシャス広場 からのお知らせ

郷育推進課(津屋崎庁舎)
☎52・4969



アンビシャス広場 頑張っています!

青少年アンビシャス運動は、平成13年度の運動開始から10年の節目を迎えました。

この10年間の成果として、アンビシャス運動参加団体は、平成13年度368団体が1,452団体に、アンビシャス広場は、平成13年度に62広場から267広場に増えています。

その一方で、「自尊感情が低く自己肯定できない子どもたちの割合が高い」「アンビシャス広場運営スタッフの高齢化やボランティア不足」「子どもたちの体験活動の不足」など、取り組むべき課題も明らかになってきました。

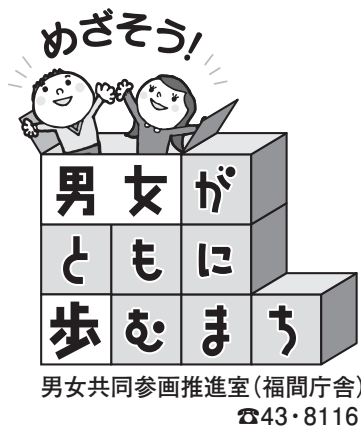
運動の3原則である「誉めて伸ばす」「自主的参加」「交流・連携」を大切に、課題解決に向け、たくましい青少年の育成を目指すアンビシャス運動の一層の充実を期待したいと思います。

市内の7カ所のアンビシャス広場に、今年の抱負を聞いてみました。

つやぎアンビシャス広場			
3月に、小学1年生から参加していた6年生が卒業します。今年11年目を迎える広場。新たな気持ちでスタートします!			
福間南小校区 アンビシャス広場	子どもたちの自主性と自立性を育てる!	みやじ アンビシャス広場	頼もしい子への成長を皆でお手伝いします!
神興東 アンビシャス広場	もっと地域の力を結集して子育てしていきます☆	勝浦 アンビシャス広場	今年も元気いっぱい活動します!
神興 アンビシャス広場	今年も仲良く、楽しく、いろんなことに挑戦したいです!	ふくま アンビシャス広場	子どもも大人もみんなが縦横斜めにつながることに!

- 応募条件
- ①男女共同参画に関するテーマであること(女性の生き方、子育て、地域づくり、DV、セクハラ、離婚、法律など)
 - ②地域の人に公開する講座であること
 - ③郷づくり推進協議会もしくは協議会に属する部会等地域が主催し、講座の企画・運営(会場の確保、参加者への募集案内を含む)ができること
 - ④12月末日までに実施できること
- 講座時間
2時間以内
- 講師
講座内容に基づき、市が依頼。主催側で依頼も可能。講師謝金は、市

男女共同参画を推進するため、皆さんの地域に講師を派遣します。講師の謝金は市が負担します。募集には限りがありますので、早めに申し込みください。



男女共同参画講座(出前版)
受講地域募集!



▲あなたの地域でもぜひ出前講座を!

『本年度の実績』
平成23年度は、10月2日に、光陽台一区30周年記念祝賀会に併せて実施しました。講師は、元杷木町長で福岡県男女共同参画センター「あすばる」前館長の中嶋玲子さんが行い、力強い口調とユーモアのある話に、出席した皆さんは、笑顔で引き込まれていました。

- 募集地域
2地域を予定
- 申込方法
所定の申込用紙に必要事項を記入の上、市男女共同参画推進室に申し込み。ファクス可。
- 申込
4月2日から受け付け
- 負担(支給額については市の基準に基づく。上限は2万円)

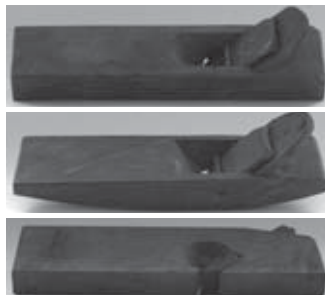


いろいろなカンナ

現在、町史編纂の際に収集された民具資料の整理作業を行っています。生活全般に使われた少し昔の道具類が収集されており、さまざまな資料があります。

写真は、船大工さんの道具箱に入っていたカンナの一部です。全部で12点あり、それぞれに違う形をしています。本職の人には見慣れた物かもしれませんが、刃の幅や角度、木材に接する台の形が異なっています。平面を削る、曲面を削る、溝を削る、といった用途ごとに専用のカンナがそろえてあり、職人技の世界を垣間見ることができます。

遺跡出土の考古資料と同様に、徐々に使われなくなる古い道具も、その時代の生活を物語る資料になるのです。



▲いろいろなカンナ

消費生活相談室

生活安全課(福岡庁舎) ☎43・8106

使い捨てカイロなどの低温やけどにご注意

「携帯用カイロを入れて使用する腹巻を購入し、使用したら低温やけどになった」という相談について、国民生活センターが商品テストを実施しました。

【助言】使い捨てカイロは手軽なため、愛用者の多い防寒グッズですが、カイロや湯たんぽなどによる低温やけど事故が多く発生しています。低温やけどは、体温より若干高めの物に皮膚の同じ場所が長時間接触する事で起きます。商品テストの結果では、50℃付近まで温度が上昇したことから、カイロが密着する状態が続くと低温やけどを負う可能性があると考えられました。手軽な防寒グッズですが、使用の際は使用方法をよく守り正しく利用しましょう。(国民生活センター報道発表資料から抜粋)

※毎週月・水・金曜日(9:00~12:00)は市役所福岡庁舎で消費生活相談員が相談を受け付けています。
※福岡県消費生活センター(☎092・632・0999)でも随時相談を受け付けています。気軽に相談ください。

エコにゅっす

うみがめ課(津屋崎庁舎)

☎52・4952(環境づくり係・清掃対策係)

☎52・4953(資源リサイクル係)

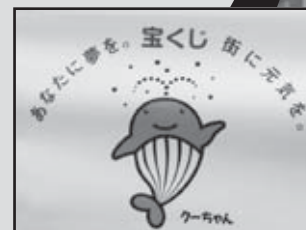
地域分別収集のためのテントを整備しました

市は、毎月1回開設の地域分別収集時に利用されるように、テント28張りを、宝くじの助成金で整備しました。

これらのテントは、分別収集時の、雨よけ、日よけに利用されるように、希望する自治会に貸し出しました。分別収集が一番身近な助け合いの場でもあり、地域づくりの機会の一つにもなっています。誰もが活動に参加しやすくなり、地域活動の輪が広がるように望んでいます。



▲宝くじの社会貢献広報事業「コミュニティ助成事業」で整備したテント



▶宝くじのコミュニケーションマーク(クーちゃん)

“メガかえっこバザール”にお越しください

NPO法人エコけんでは、“メガかえっこバザール ～eこどもまつり～”を開催します。いらなくなったおもちゃ交換のワークショップ、“かえっこショップ”を中心に、さまざまな環境保全活動の団体が出展します。

かえっこビンゴゲームで各団体のクイズや工作などを体験でき、地球環境のことを考えたイベントです。また、ネイチャークラフトやメガ環境かるたなどのゲームに加え、福岡県温暖化防止活動センターのゆるキャラマスコット「エコトン」も来場します。

“メガかえっこバザール ～eこどもまつり～”

- 日時 3月18日(日)
13:00~16:00
- 場所 サンフレア古賀(図書館)2階
JR古賀駅より徒歩約5分
- 参加費 無料
- 問い合わせ NPO法人エコけん
☎092・944・3012



▲かえっこショップの様子